

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年2月25日(2016.2.25)

【公開番号】特開2014-101365(P2014-101365A)

【公開日】平成26年6月5日(2014.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2014-029

【出願番号】特願2013-237673(P2013-237673)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/97 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/97

A 6 1 Q 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月4日(2016.1.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

G B 1、G B 1 a、G B 2、およびコラフラバノンからなる群から選択される少なくとも 1 つのピフラボノイドを多く含むガルシニア・コラ抽出物を含有する抗糖化剤であって、H P L C - U V により 2 9 0 n m でアッセイした G B 2 等価物で表される総ピフラボノイドを、5 % より高い濃度で含有する、抗糖化剤。

【請求項 2】

前記 H P L C - U V により 2 9 0 n m でアッセイした G B 2 等価物で表される総ピフラボノイドを、2 0 % より高い濃度で含有する、請求項 1 に記載の抗糖化剤。

【請求項 3】

前記 H P L C - U V により 2 9 0 n m でアッセイした G B 2 等価物で表される総ピフラボノイドを、4 0 % より高い濃度で含有する、請求項 1 に記載の抗糖化剤。

【請求項 4】

前記抽出物が、ガルシン酸も含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の抗糖化剤。

【請求項 5】

前記抽出物が、ガルシニア・コラの種を抽出することにより得られることを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の抗糖化剤。

【請求項 6】

前記抽出物が乾燥していることを特徴とする、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の抗糖化剤。

【請求項 7】

ガルシニア・コラの抽出プロセスであって、4 0 ~ 2 0 0 の温度および 5 0 ~ 1 5 0 バールの圧力において溶媒により抽出する前に、前記ガルシニア・コラの抽出用の一部を、乾燥し、その後砕粉する、前記抽出プロセス。

【請求項 8】

前記ガルシニア・コラの抽出用の一部が、種である、請求項 7 に記載の抽出プロセス。

【請求項 9】

請求項 7 または 8 に記載の抽出プロセスによって得られたガルシニア・コラ抽出物の、分画プロセスであって、前記分画が、固体担体上の順相液体クロマトグラフィー、固体担体上の逆相液体クロマトグラフィー、大気圧液体クロマトグラフィー、中圧液体クロマトグラフィー、高速液体クロマトグラフィー、フラッシュクロマトグラフィー、向流クロマトグラフィー、またはこれらの方法の組み合わせにより実施される、前記分画プロセス。

【請求項 10】

請求項 7 または 8 に記載の抽出プロセスによって得られたガルシニア・コラ液体抽出物の、分画プロセスであって、前記分画が、前記液体抽出物を、ポリアミド上で濾過するステップを含む、前記分画プロセス。

【請求項 11】

G B 1、G B 1 a、G B 2、およびコラフラバノンからなる群から選択される少なくとも 1 つのビフラボノイドを多く含むガルシニア・コラ画分を含む抗糖化剤であって、H P L C - U V により 2 9 0 n m でアッセイした G B 2 等価物で表される総ビフラボノイドを、5 % より高い濃度で含有し、請求項 9 または 1 0 に記載のプロセスにより得られることを特徴とする、抗糖化剤。

【請求項 12】

前記 H P L C - U V により 2 9 0 n m でアッセイした G B 2 等価物で表される総ビフラボノイドを、2 0 % より高い濃度で含有する、請求項 1 1 に記載の抗糖化剤。

【請求項 13】

前記 H P L C - U V により 2 9 0 n m でアッセイした G B 2 等価物で表される総ビフラボノイドを、4 0 % より高い濃度で含有する、請求項 1 1 に記載の抗糖化剤。

【請求項 14】

前記画分が乾燥していることを特徴とする、請求項 1 1 ~ 1 3 のいずれか 1 項に記載の抗糖化剤。

【請求項 15】

美容上許容可能なキャリアーと共に、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項または請求項 1 1 ~ 1 4 のいずれか 1 項に記載の抗糖化剤を含有する、美容用組成物。

【請求項 16】

皮膚の加齢に対抗するために、対象の皮膚に請求項 1 5 に記載の美容用組成物を適用する、美容術。

【請求項 17】

物質の、コラーゲン糖化阻害活性の測定方法であって、以下のステップ
糖および試験に供する前記物質の存在下におけるコラーゲンのインキュベーション；
および、

形成した糖化産物により発せられた蛍光の測定、
を含む、前記測定方法。

【請求項 18】

前記蛍光が、ペントシジン蛍光である、請求項 1 7 に記載の方法。

【請求項 19】

インキュベーションの前に、水性溶媒に前記コラーゲンを溶解させる、請求項 1 7 または 1 8 に記載の方法。

【請求項 20】

前記水性溶媒が、酸溶媒である、請求項 1 9 に記載の方法。

【請求項 21】

前記水性溶媒が、酢酸である、請求項 1 9 に記載の方法。